

国際化に対応するための英語教育の強化（現状の取り組み）

1 外国語指導助手（ALT）配置事業 ※ALT（Assistant Language Teacher）

（1）配置事業の目的

市内の中学校英語教育及び小学校外国語活動推進のために、市として外国語指導助手を配置する。

（2）事業の内容

ALT 4 人を直接雇用し配置する。配置日数については、中学校に週 3 日、小学校週 2 日の配置とする。平成27年度より、学校 4・3・2 制の事業にあわせ、中学校区ごとに1人のALTを配置した。

（3）予算規模

本人への報酬としての予算及び、管理委託業者への委託料を予算化

報酬 30万円×12ヶ月×4人=1440万円 社会保険 216万円 合計 1656万円

2 学校 4・3・2 制（小中一貫教育）推進事業の取り組み

（1）事業の目的

義務教育 9 年間を、「9 年間を一貫して通す「柱」」を通して、指導することで、小中の学校文化の相互理解を図り、確かな学力や豊かな心の育成を図る。

それぞれの発達段階（④（2+2）、③、②のブロック）ごとの課題の着実な克服（学力向上、豊かな心、健やかな体の育成）を目指す。

（2）英語教育に係る取り組み

①：中学校の英語担当教諭が「兼務発令」により小学校の高学年の「外国語活動」の授業指導を行う。 →小学校と中学校の間で協議して実施。

②：学校 4・3・2 制推進非常勤講師に中学校英語免許を取得者を配置。

→小学校高学年での教科担任制を推進し、「専門性を活かした教科指導による学力向上」、「学びの充実」を図る。

※ 中学校 → 2名の非常勤講師 小学校 → 1名の非常勤講師

